

# マクロ学会通信

2012年3月号(Vol.23 No.250)

## 報 告

**第 27 回 日本マクロエンジニアリング学会  
年次研究大会** が下記の通り実施されました。

日 時： 2012年(平成24年)2月13日(月)  
13時00分～17時00分  
場 所： 東京大学本郷の山上会館

### 基 調 講 演

「地球環境変遷と天災：何年先までの持続可能性か？」  
マクロエンジニアリング学会理事 角田 晋也  
(独立行政法人海洋研究開発機構 海洋工学センター 技術主任)

### 講 演 (順不同)

- ・「放射能汚染土壌の除染と、除染後の処理について」  
北見 辰男 (当学会理事, 都市資源工学)
- ・「外資企業進出がもたらす雇用・賃金への影響  
- 2部門経済モデルを用いた分析 -」  
木村正信 (当学会理事 金沢星稜大学)
- ・「災害廃棄物の適正処理と復興について」  
劉 庭秀 (当学会会員 東北大学)
- ・「新エネルギーや未利用資源等による発電の  
将来展望」  
木本 研一 (当学会理事, アステックインターナショナル)
- ・「循環型農業(米作)における生産経費に関して  
- 慣行農法との比較において」  
TARF 秋吉 祐子 (当学会副会長 聖学院大学)  
増子 隆子 (当学会事務局長)
- ・「大災害の特性と対策」  
- どう考えていくべきか -  
亀田 泰武 (当学会理事 水の未来工房)

### ワールドカフェ開催

<テーブルテーマ>

- 「シンポジウムや研究大会を改善するには?」
- 「東日本大震災後の災害廃棄物をどうするか?」
- 「東日本大震災後の地球環境や文明システムズをどうするか?」

最後に参加者アンケートにより優秀プレゼン賞は、  
劉先生の「災害廃棄物の適正処理と復興について」が選ば  
れました。おめでとうございます。

## お 知 ら せ

### ■ 特定非営利活動法人

### マクロエンジニアリング研究機構 会員募集

Research Institute for Macro-Engineering Practice

JAMESの研究成果の実用化、具現化を一つの大きな目  
標として設立された、特定非営利活動法人(NPO)「マ  
クロエンジニアリング研究機構」(略称: RIMEP)が2  
011年11月10日に成立・発足いたしました。本日よりJ  
AMES関係者からの入会を募集いたします。会員・準会  
員・学生会員の皆様で本法人の趣旨にご賛同いただ  
ける方々の入会をお待ちしております。現在、まだ立ち  
上がりつつある状況でありますので何かと不備な点  
がございますが、皆様のご協力を頂きながら活動を順  
次軌道にのせていく所存です。

お申し込みは、e-mailで直接下記へお願いします(F  
AX、電話でも受け付けます)。  
ご質問等も下記入会申込先へお願いいたします。  
設立目的、事業の種類、役員名及び会費等は添付  
の定款抜粋をご参照ください。

メール配信の方には、添付ファイルにて申込書・  
定款をお送りしております。

### ■ マクロエンジ・プロジェクト、未利用資源、 水資源合同研究会

下記の要領で合同研究会(マクロエンジ・プロジェク  
ト、未利用資源、水資源)を開催いたします。皆様の  
参加をお待ちいたします。

日 時： 3月8日(木) 17:30-19:00

話題提供：秋吉祐子 本学会副会長、聖学院大学教授

話 題： TPP議論に思うこと

話題提供者のコメント： 昨年のTPP論議から日本復興  
(改造)案を考えました。それを紹介したいと思いま  
す。農業を核とする提案です。

場 所： 横浜ランドマークタワー25F、ビジネスサ  
ポートフロア2512会議室(会議室番号は、開始15分前  
より25F受付フロアのモニターにも掲示されます)

連絡先：[角田晋也 kakutas@jamstec.go.jp](mailto:kakutas@jamstec.go.jp)、  
木本研一 [astec@fa.mbn.or.jp](mailto:astec@fa.mbn.or.jp)、  
[北見辰男kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp](mailto:北見辰男kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp)、  
携帯：070-5080-4271

## ■ ウォーターフロント研究会 (代表 沼尻重男) 環境教育研究会合同主催

○ 隅田川大学公開講座  
フィールドワーク (FW) 第 20 回

テーマ：「東京スカイツリーと  
その周辺最新状況の探索」

日時：3月17日 (土) 13:30~16:30  
(集合 浅草・吾妻橋右岸テラス)

参加費：会員 500 円 (含マクロ学会会員)  
一般 1000 円

イベントへの問合せ先・申込先：  
電話 0422-45-0352 FAX 0422-45-0353  
携帯 080-5488-1236 (糸井守)  
Email [mi1234toi@yahoo.co.jp](mailto:mi1234toi@yahoo.co.jp)

## ■ 文明システム研究会

○ 日時：3月17日土曜日 16:00~18:00  
場所：地球ひろば・ミーティングルーム#1

○ 日時：4月14日土曜日 16:00~18:00  
場所：地球ひろば・ミーティングルーム#2

○ 日時：5月19日土曜日 16:00~18:00  
場所：地球ひろば・ミーティングルーム#1

議題は未定です。

### <会員の皆様>

本マクロ学会通信は、次号4月号 (Vol. 23No. 251) は、  
2012年4月3日発行予定です。

メールアドレスをお持ちで、事務局にメールアドレスを登録されていない会員の方は、是非事務局までお知らせください。(メールを使用されていない方には、これまで通り送付対応いたします。)

### 事務局より

今現在、当学会の事務局は吉野理事長の拓殖大学海外事情研究所吉野研究室に置かれていましたが、4月以降茂木理事の拓殖大学の茂木研究室 茂木理事長として移行します。

拓殖大学内ですが、住所・メールアドレス・電話番号等の変更があります。拓殖大学学内引越し等完了後に新し

い番号等の案内となります。ご留意下さい。(わかり次第マクロ学会通信を発行し周知させていただきます。)

### ホームページ移設について

これまで国立情報学研究所 学協会情報発信サービスのホームページ構築・提供支援によってホームページを運用してきましたが、来年3月に終了します。そこで亀田理事のご尽力により下記アドレスへ引越しが完了しました。<http://www.jame-society.jp/>

新アドレスにてホームページ御覧下さい。

発行・編集 日本マクロエンジニアリング学会事務局  
〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14  
拓殖大学海外事情研究所  
吉野研究室内 (担当：齊藤)  
Tel/Fax 03-3947-2323  
E-mail: [fyoshino@ner.takushoku-u.ac.jp](mailto:fyoshino@ner.takushoku-u.ac.jp)  
URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/>  
(2012.年3月まで)

**変更後の新しいホームページ**  
<http://www.jame-society.jp/>

本通信の他への無断転載を禁じます。

## マクロ学会だより

### ■ 関東学院大学キリスト教と 文化研究所公開シンポジウム

主催：関東学院大学キリスト教と文化研究所  
後援：日本マクロエンジニアリング学会

「環境問題から見た東日本大震災の意味とキリスト教の役割—環境神学の構築をめざして—」

2011年(平成23年)3月11日(金)に発生した東日本大震災によって日本の社会、ことに東日本の地域社会は壊滅的な打撃を受けた。福島原子力発電所の重大事故(メルトダウン)は、日本のみならず世界に大きな衝撃を与えた。この未曾有の大災害からどのように回復すべきか、また、エネルギー政策を含めて今後どのような社会システムを構築したらよいかを抜本的に考え直す必要がある。宗教界、特にキリスト教はどのような役割を果たすべきかが問われている。そこで、環境問題から見た東日本大震災の意味とキリスト教の役割を考える。ことに、新しい環境神学をどのように構築し実践すべきかを検討する。

1. 日時：2012年3月17日(土) 午後2時-5時
2. 会場：関東学院大学金沢八景キャンパス・フォ

アサイト 21 棟 3 階 F301 教室

3. 交通（京急電鉄金沢八景駅から徒歩約 15 分・関東学院循環バスで約 5 分）交通アクセスは、下記ホームページを参照されたい。

<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/about1/index.php?id=6>

4. パネラー：

安田治夫（日本基督教団大和教会牧師）：「ヒロシマ、チェルノブイリ、フクシマを経てのエネルギー問題再考— 崖淵に立つ危機から新たな神学ビジョン構築へ向けて—」

木村護郎クリストフ（上智大学外国語学部准教授）：「なぜエネルギー問題が信仰の課題となるのか—チェルノブイリ後のドイツとフクシマ後の日本—」

安田八十五（関東学院大学経済学部教授）：「第三次関東大震災のリスク分析と政策シミュレーション—大地震で米空母の原子炉が事故を起こした場合の被害に関する社会システム分析と政策提言—」

5. 参加希望者は、氏名（ふりがな）・所属・連絡先等を書き、電子メール・ファックス等で下記あてに申し込みをお願いします。参加費は無料。

6. 問い合わせ・連絡先：

関東学院大学キリスト教と文化研究所

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

TEL： 045-786-7873 FAX:045-786-7806

Email： [kgujesus@kanto-gakuin.ac.jp](mailto:kgujesus@kanto-gakuin.ac.jp)

HP: <http://kgujesus.kanto-gakuin.ac.jp/>

## 日本学術会議における公開シンポジウムの開催（3月）について（ご案内）

学術的な研究成果を国民に還元する活動として、以下の公開シンポジウムを開催します。

- 福島第一原子力発電所事故から1年を迎えて  
特別公開シンポジウム「放射能除染の土壌科学—森・田・畑から家庭菜園まで—」

日時：3月14日（水）13時～17時

場所：日本学術会議講堂

- 公開シンポジウム「東日本大震災から一年—持続可能な社会に向けた復興へ—」

日時：3月15日（木）13時30分～17時

場所：日本学術会議講堂

- 公開シンポジウム「気候変動条件下での風環境の変化・影響」

日時：3月21日（水）9時30分～17時

場所：日本学術会議講堂

- 公開講演会「持続的な食糧生産と食の安全を支える新たな動物生産科学の展開」

日時：3月30日（金）13時～15時30分

場所：名古屋大学 IB 電子情報館 4 階大講義室

（愛知県名古屋市千種区不老町）

詳しくはこちらのURLからご覧ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>